

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成28年度第1回（定例会）

署名人 本 仲 範 男

委員長 神 村 洋 子

開催日時 平成28年4月7日（木）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時15分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席委員 神村洋子委員長、饒波正博委員、比嘉佳代委員、本仲範男委員、渡慶次克彦教育長

議 事 日 程 （2は非公開）

- 1 委員長職務代理者の指定について
- 2 報告2 平成28年度那覇市一般会計予算の確定について 【総務課】
- 3 報告1 那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について 【総務課】

出席職員

【生涯学習部】伊良皆宜俣部長、屋比久猛義副部長

（総務課）山内健課長、佐久川敏明副参事、加藤和歌子主査、伊禮道子主査

【学校教育部】黒木義成部長、森田浩次副部長

（学校教育課）武富剛課長

会議録作成（総務課）幸地英子主査

神村委員長 平成28年度第1回教育委員会会議(定例会)を開催いたします。比嘉議員が4日に就任し、今日から会議もまた一緒にスタートすることになります。一緒にまた頑張っていきましょう。本日の会議録署名は本仲委員にお願いいたします。

議事日程の1番目は「委員長職務代理者の指定について」となっています。委員長職務代理者は、委員長に事故がある時、または委員長が欠けた時に代わってその職務をおこないます。委員長職務代理者として推薦する方がおりましたらお願いいたします。はい、饒波委員。

饒波委員 饒波です。私もこの委員会が長くなってきておりますが、ですからこの責任ある仕事も受けなくてははいけないと思っておりますが、本業がありましてなかなかそれが出来ないということで申し訳ないのですが、本仲委員を推薦いたしまして、お願いをいただきたくはございますけれども、本仲委員を推薦いたします。

神村委員長 ただ今、推薦がありました。委員長職務代理者は本仲委員とすることでご異議ないでしょうか。

全 員 異議なし。

神村委員長 ありがとうございます。それではご異議がないようですので、委員長職務代理者は本仲委員と決定します。任期は職務代理者についても1年間としておりますので、平成28年4月7日～平成29年4月6日までとなります。よろしくお願いたします。

本仲委員 はい、受けさせていただきます。

神村委員長 では、日程2に参ります。日程2は予算に関する案件である為、非公開とすることが適当であると思われま。日程2について非公開としてよろしいでしょうか。

全 員 異議なし。

神村委員長 異議なしとすることですので、それでは日程2を非公開とします。関係者以外は退席をお願いいたします。

～ 非公開 ～

神村委員長 非公開を解きます。続きまして、報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」の説明をお願いいたします。はい、伊良皆部長。

伊良皆部長 それでは報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」、見出しのことについて別紙のとおり報告する。平成28年4月7日提出。教育長 渡慶次 克彦。報告理由 那覇市議会平成28年2月定例会における教育委員会への議決議案及び教育委員会への代表質問・一般質問の答弁状況を報告する。中味につきましては、総務課長のほうでご説明いたします。

神村委員長 課長、お願いします。

山内課長 ご説明いたします。まず2月定例会において議決された議案についてご報告いたします。別添の議決議案送付書をご覧ください。4頁の議案第46号そして議案第47号

が2月議会定例会で議決された教育委員会関連の議案でございます。

6頁をご覧ください。これが議案第46号「第2次那覇市教育振興基本計画の策定について」というものでございますけれども、これの議会で議決されたという議決書の資料でございます。本案につきましては教育委員会で策定した原案のとおり議決されております。7頁は工事契約の締結でございます。議案第47号「城南小学校プール及び幼稚園園舎改築工事の建築契約の締結」の議案についてでございます。

議決資料についてはこれ位にしておきまして、次は教育委員会関係の質問状況についてご報告したいと思います。もう一つの資料をご覧ください。資料集がございまして、表紙がございまして、頁をめくっていただきまして、目次をご覧ください。

2月議会では代表質問・一般質問を合わせまして45件の質問が出ております。次のページをご覧ください。各課の質問内容・質問件数について、課別答弁状況一覧としてまとめてございます。質問内容と質問した議員名、そして担当の課、そして頁数、件数と記載しております。今議会の特徴としましては、新聞などのマスコミ報道で何度も取り上げられておりますけれども、子どもの貧困対策が喫緊の課題でありまして、国を挙げてその対策が求められていることから、子どもの貧困問題関連が質問として多く取り上げられました。本日はこの貧困問題関連の質問を中心に説明させていただきます。表の生涯学習課のNo.10 那覇市における給付型奨学金制度の導入についての質問、そして学務課のNo.6、No.30が就学援助の実態や認定の事務手続きの関する質問、教育相談課のNo.5、No.19、No.36そしてNo.37は主に国の沖縄県に対する子どもの貧困緊急対策事業、それを受けまして那覇市の事業などについてのご質問でございました。また学校給食課におきましては、貧困問題そして子育て支援の観点からだと思いますけれども、給食費値上げについても取り上げられております。学校給食課のNo.4、No.9、No.13、No.38でございます。全質問45件の質問がございましたけれども、そのうち11件はこれら貧困問題関連の質問でございました。それでは答弁の概要を簡単に説明いたします。

貧困問題についてのみ説明させていただきたいと思います。生涯学習課のNo.10 那覇市における給付型奨学金制度の導入についての質問に対する答弁としましては、沖縄県が導入を予定している給付型奨学金制度でございますけれども、これは頁数で10頁でございます。これは将来に不安を抱くことなく学業に専念できる制度であるということとして、那覇市教育委員会としても認識していると、しかしながら本市での導入については財源の確保等の問題があり、今後、沖縄県の新制度の動向を注視していきたいというような答弁をしております。続きまして、学務課の就学援助の実態とか、後、それについての質問に対しては、これは頁数が飛びますけれども、6頁、27頁なんですけれども、答弁の内容としましては、平成26年度就学援助を受けている児童の割合は、那覇市立の全小学校の児童に対して約24%、中学生においては

約30%の状況があるということ、そして就学援助の周知を図る為、全児童生徒に対し入学時、進級時にチラシを配布して、また10月にも全児童生徒に再度チラシを配布すると、今後は更に先程も申しあげましたけれども、児童館・公民館等などにも、子育て支援、子育て世代が利用する施設へのチラシを配布をおこなっていくというふうに説明をしております。また認定の手続き等については、就学援助の対象は規則で定められておまして、申請者は世帯の収入状況等を基に審査をしていくということ、審査に当たっては関係書類の提出など簡素化を図っているというふうな答弁をしております。教育相談課の貧困対策関連の事業についての答弁の概要としましては、国は貧困対策の重点施策として学校をプラットフォームとして位置づけており、学校教育による学力の補償、学校を窓口とした福祉関連機関と連携など総合的な子どもの貧困対策を展開していくとしています。那覇市としてもそれを推進していくということ、そして教育委員会としては、小・中学校貧困対策支援員配置事業また子ども貧困対策居場所運営支援事業など二つの新規事業を立ち上げるということ。支援員配置事業では、子ども寄添支援員を各中学校に配置し、学校、行政、関係機関と連携して貧困問題対策に取り組んでいく、居場所運営事業では、準要保護等の支援を要する貧困家庭を中心に不登校などから、貧困になる恐れのある児童生徒に対して、教育的な居場所を提供して学習支援をおこない、学校や社会への適用促進、自立に向けた支援をおこなうというような答弁をしております。学校給食課の給食費の質問に対しては学校給食費の値上げの理由、そして値上げ額の根拠等について説明をしております。また徴収した給食費につきましては、全て食材購入費に充てているということで、受益者負担の観点からその費用は保護者に対していただいているということで、但し、経済的貧困・困窮世帯に対しましては、生活保護や就学援助生徒は公費から給食費を援助しているということを説明して、それら以外の新たな助成や給食費の無料化についての困難であるというふうに考えているというふうな答弁をしております。その他の、那覇市への、市内への特別支援学校の設置に関する質問で、第2次那覇市教育振興基本計画についての質問がございましたけれども、これらについては詳細を省略させていただきまして、そういった質問に1頁から41頁まで答弁内容がありますけれども、これで終了したいと思います。何か他に確認したいこととかご質問があれば承りたいと思います。

神村委員長     ありがとうございました。この件について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。はい、本仲委員。

本仲委員     13ページのNo.12, No.13にかかわるものなんですけれども、給食費の無料化についての質問なんです、これは全額無料化しているところは今ない訳ですか。

神村委員長     はい、副部長、お願いします。

森田副部長     県内では6ヶ所程がございます。全額を助成している自治体は今5ヶ所ございまして、嘉手納、粟国、渡名喜、多良間、与那国ですね。この5市町村が全額無償にして

いる所です。

神村委員長 よろしいですか。はい、ほかにございますか。はい、饒波委員。

饒波委員 質問も答えも我々が多く議論したものが結構あったので、非常に良く解りました。ただ、23頁のですね、この清水議員の質問で、学校のトイレのことを聞いていて、答えがちょっと今ひとつこう解らないので、その経緯を。「小学校に洋式トイレが確保される」とあるけれども、「来客用として確保されてしまい」ということで質問されているところの答えがちょっともう一つよく解らなかつたので、どういった経緯があったのかなと思ひまして。

伊良皆部長 休憩をお願いします。

神村委員長 休憩します。

休憩

再開

神村委員長 再開します。はい、伊良皆部長、お願いします。

伊良皆部長 この清水議員の質問につきましては、今回、教育行政についてということで、実は市長の公約の「まち・つなぐ・ひと」というふうな状況がございまして、そこら辺に関連した部分のものがございました。この部分につきましては 「ひと」行政と言うことがございましたので、「ひと」行政に沿った形での資質での答弁と言うことでご理解をいただきたいと思ひます。

神村委員長 ほかにございますか。よろしいでしょうか。はい、ほかにございませぬので、それでは、報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」は、終了いたします。

以上を持ちまして、平成28年度第1回教育委員会会議(定例会)を、終了いたします。